

排出事業者向けに
スキルアップ勉強会

泥土リサイクル協会

泥土リサイクル協会（木村孟理事長）は1月31日、東京都中央区のTKP東京駅日本橋カンファレンスセンターで、泥土排出事業者向けのスキルアップ勉強会を開いた。会員企業などから46人が参加し、泥土リサイクルへの理解を深めた写真。



勉強会では、「1時間でわかる『建設汚泥処理物の

廃棄物該当性の判断指針について』の通解書」と題し、野口真一泥土リサイクル協会事務局長が講義。同協会が独自に設けた建設汚泥の適正評価が行えるチェックリストの利用方法も解説した。次いで肴倉宏史国立環境研究所資源環境・廃棄物研究センター室長が「産業副産物の利活用に関する社会実装のあり方―利活用後の評価とインセンティブ―」をテーマに講演した。